



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡(鶴岡市錦町2-10) 例会日 毎週火曜日(12:30~13:30)

平成25年9月10日(火) 第2645回 例会 (本年度第9回)

9月24日(火)	ゲストスピーチ 鶴岡警察署署長 相馬 諭氏
10月1日(火)	通常例会(ゆとり例会)
10月8日(火)	ゲストスピーチ 加茂水族館館長
10月12日(火)	東京東江戸川IRC45周年・盟約20年記念式典

Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎http://www.tsuruokarc.org/

鶴岡ロータリークラブ ホームページ



会長挨拶

嶺岸 禮三君

先月29日、職業奉仕フォーラムが鶴岡南ロータリークラブと共催で開催されました。当クラブ会員15名、南クラブ会員17名、計32名が参加し、鈴木地区職業奉仕委員長の基調講演、グループ討議そしてテーブル発表を行いました。職業奉仕に関する講演を何度か聞きましたが、鈴木委員長の話は分かりやすさでは一番ではなかったかと私なりに思っています。ロータリーの歴史を踏まえて、職業奉仕がどのように捉えられてきたか、どういふ変遷をたどってきたかを、その主張の代表的な人物を紹介しながら述べておられました。懇親会では、南クラブとまた合同の例会をしましょうと大いに盛り上がりました。

9月1日は、天童市、市民文化会館で地区ロータリー情報・職業奉仕合同セミナーが開催され、佐藤友行職業奉仕委員長と出席してまいりました。結局ロータリー情報は取りやめになり、職業奉仕だけのセミナーになりましたが、29日のフォーラムの内容が半分くらいを占め、もう半分はさらにロータリーの歴史を追及した内容になっていました。その講演で印象深かった事柄について一つだけ申し述べます。「寛容」という言葉です。ロータリーは寛容の精神が大事とよく言われますし、何度となく耳にしてきました。ロータリーにとって大事なキーワードになっています。しかし何故「寛容」という言葉が使われるようになったのかは知りませんでした。この言葉を強調したのはロータリーの創始者ポール・ハリスその人だったのです。彼の著書「Rational Rotarism」でも触れていますし、ロータリーの大会で、ロータリーにとって最も大事なことを一言で言うとか何かという問いに「それは寛容である。それが一番大事にしなければいけないことだ」と答えました。その背景には彼がロータリーに入会させた親睦・互恵派のハリ・ラグレスと超我の奉仕を解くシェルドンとの意見の対立

があり、ロータリーは分裂の危機にあったということでした。その切迫状況から生まれたのが「寛容」という言葉でした。結局ハリスの願い叶わずシェルドンはロータリーを去っていきました。

9月5日は英語弁論大会、9月8日は田川地区小中高考案創作展の表彰式がともに中央公民館であり、ロータリークラブ賞を差し上げてきました。

ということでこの2週間にいろいろありましたが、8日の早朝、2020年のオリンピックが東京に決まったことはビックニュースでした。多くの人が自分の年齢に7を足して、いろいろ思いを巡らせたのではないのでしょうか。当クラブ会員の平均年齢は、約58歳。7年後は65歳になります。1964年の東京オリンピックは9歳で小学校3年生でした。新幹線や高速道路ができ、高度経済成長の時代で、東京は建設ラッシュで賑わい、地方から人々が東京に集まり、東京は近代都市に生まれ変わりました。

2020年のオリンピックは日本に何をもちたらすのか。東京はまた大きくその姿を変える事でしょう。不透明感、閉塞感のある日本にとっては、決まって本当に良かったと思います。

幹事報告

小林 健郎 君

ガバナー事務所

○新世代奉仕グループセミナーのご案内

日 時:9月28日(土) 登録10:00

場 所:天童ホテル

参加者:会長・幹事・新世代委員長・米山委員長

登録料:一人3,000円 締切9/18

GE事務所

○ガバナーエレクト事務所開所式のご案内

日 時:10月5日(土) 午後6時

場 所:グラウンド エル・サン

登録料:一人3,000円 締切9/18

RI会長	ロンD・バートン	地区ガバナー	新関 彌 一郎
会長	嶺岸 禮三	副会長	越智 茂 昭
幹事	小林 健 郎	会長エレクト	丸山 隆 志
会報委員会	嶺岸 禮三・本間 厚・石田 雄・丸山 隆 志		

事務局:鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

ガバナー事務所

○地区大会のご案内

【大会1日目】11月9日(土)

会場:天童ホテル

【大会2日目】11月10日(日)

本会場:天童市市民文化会館

会員懇親の夕べ会場:天童ホテル 締切10/3

サッカーは子どもを大人にし、大人を紳士にする (By デトマール・クラマー氏)
モンテディオ山形 ジュニアユース庄内コーチ 佐藤 英 行 氏



皆様、はじめまして。今年の2月よりモンテディオ山形ジュニアユース庄内のコーチになりました佐藤英行と申します。

まずはモンテディオ山形ジュニアユース庄内(以下、M庄内)についてお話させていただきます。M庄内は2003年、モンテディオ山形が庄内地区にジュニアユース(中学生チーム)を立ち上げ、ユース(高校生対象)との一貫指導体制を構築し、プロ選手養成を目標に、日々指導しております。練習場所は鶴岡市大山のTDK庄内グラウンドで活動していて、選手(中学生)は庄内一円から集まり、お互いに同じ夢を持って切磋琢磨しながら練習に励んでいます。

メンバーは、中学1年生から3年生までの54名。いずれも小学6年時に行われるセレクションを通過した選手です。練習時間は平日の夜2時間。土日は、全国各地を駆け回り、他チームと練習試合および公式戦を戦います。

私が担当しているU-14(中学2年生チーム)は、Jリーグと同様に年間通してホーム&アウェイで試合が行われ、北は北海道、南は長野県までバスや飛行機で移動し厳しい試合を行っています。その中で、選手は喜び、悔しさ、辛さなどを乗り越えて人として大きく成長していきます。サッカーは1人ではできません。共にボールを追いかけゴールを目指す仲間、対戦してくれる相手、ルールに従い試合を裁く審判、お弁当作りや早朝深夜の送迎、熱い応援をしてくれる保護者、いつも励ましてくれる学校の先生や友達、地域の方々…。私たちはサッカーを通して周りに支えられているのです。

話は変わりますが、私は中学校を卒業後、プロサッカー選手を目指して単身ブラジルに留学しました。当時はJリーグが始まって2年目。盛り上がるサッカー熱、華やかな舞台、三浦和良選手にあこがれてサッカー王国ブラジルに渡伯しましたが、やはり気合いだけでは王国では通用しませんでした。ブラジル人にとって日本人とは、「サッカーが下手」というのが代名詞であり、サッカー以外では陽気で人懐っこい彼らでも、一步グラウンドに入れば近くにいないのにパスをくれない、相手にされない日々が続きました。このままでは帰れ

ない! どうしたら認められるのか、必死に考えました。練習はもちろんのこと、ブラジルの言葉(ポルトガル語)や文化を学び、彼らのことを知らなければと努力しました。

スーパーに行き、ありとあらゆる物の名前を覚えたり、辞書がボロボロになるまで日常会話を勉強しました。選手と仲良くなり彼らの家に遊びに行き生活スタイル家族の大切さに感銘を受けました。サッカーしかやってこなかった自分が、サッカーを通して大人に成長できた、人生の1ページです。

やがてチームの監督やコーチとも意見や考えを伝えたりできるようになり、試合も出場できるようになっていきました。下部組織のチームでも登録は外国人登録。チームに活気を与え勝利に導くプレーをしなくてはなりません。いいプレーができなかった時には、観客席からブーイングを浴びせられます。しかし、チームを勝利に導けば拍手喝さい。休みの日に街を歩けば通りがかりの人やすれ違う車から身を乗り出して声をかけてくれました。ブラジルという国は、サッカーは国民的スポーツであり、生活の一部であり、人生の生きる源であると心底実感しました。

私が、経験してきたことを今度は未来を担う子供たちに伝えていこうと思っています。庄内の子どもたちはとても元気がよく、また東北人らしく優しく思いやりのある子ばかりです。

私は、「子どもを大人にし、大人を紳士にする」サッカーを通して、目標や夢を持って悔いのないよう頑張ることや、家族や友達、仲間を大事にすること、サッカーで地域に貢献することなどを伝えていこうと思っています。近い将来、この地域の皆様から大事に育てられた選手がモンテディオ山形のプロサッカー選手となり、ピッチで躍動し、愛される選手を育成していきます。

委員会報告

◆出席委員会

◎ゲスト

佐藤英行氏(モンテディオ山形ユース庄内コーチ)

◎メイクされた方

藤川 享 胤・佐藤 孝 子・塚原 初 男・嶺岸 禮 三

小林 健 郎・丸山 隆 志・菅原 成 規

スマイル 😊

真島吉也君 孫が東京でサッカーをやっていますので参考になりました。ありがとうございました。

加藤 亨君 佐藤コーチ、本日はありがとうございました。是非東京オリンピックにモンテから出場できる選手を育成してください。

嶺岸禮三君 佐藤コーチ、スピーチありがとうございました。

出席報告

会員数	40名
出席	27名
出席率	75.67%
前々回確定出席率	81.08%